

第3次創甲斐教育推進大綱におけるピックアップ施策の設定について

1. ピックアップ施策の設定について

令和6年8月27日に開催された第3回創甲斐教育推進大綱策定会議において、「施策をただ列挙するのではなく、“優先的に力を入れるべき施策”、“市民が注目している推しの施策”などをわかる形で示してはどうか」という意見をいただきました。

このことを受け、策定会議において熟議を通して議論を行い、市民アンケートや委員としての意見を踏まえて投票を実施し、結果を重点的施策や評価指標を設定する施策の参考にしてほしいとの意見が出されました。

事務局において検討した結果、投票数が多かった施策を「ピックアップ施策」として設定することとしました。

2. ピックアップ施策の考え方

本計画で取組む施策は、どれも本市教育の目指す方向を実現するうえで重要ですが、その中でも、今回、策定会議により選定された各施策は、国・県の計画や時代の潮流、本市における特に重要な課題、策定会議や市民アンケートで把握した市民の声などを踏まえた施策として定義づけられるものです。

このことから、これらの施策をピックアップ施策と位置付け、市民（策定委員）からの注目施策であることから、評価指標を優先的に設定したうえで、施策の進捗状況を点検し、PDCAサイクルにより事業の実施を管理することとします。

3. ピックアップ施策と主な選定理由

<1-1-(1)-① 基礎的、基本的な知識及び技能の習得と定着>

学校教育の基本となる部分であり、策定会議や市民アンケートにおいても重要度が高いとの意見が多くありました。

<1-1-(1)-② 思考力・判断力・表現力等の育成>

人間力を育むための基礎となる部分であり、策定会議において重要度が高いとの意見が多くありました。

<1-1-(2)-① 道徳教育の推進>

<1-1-(2)-② 体験活動や読書活動の充実>

市民アンケートにおける「教育において市が力を入れるべきこと」の設問では、「命の大切さや他人を思いやる豊かな心を育む授業・活動の充実」が最も割合が高くなっています。策定会議においても重要度が高いとの意見が多くありました。

<1-1-(2)-③ いじめ・不登校対策の充実>

<3-1-(3)-① 不登校児童生徒の教育機会の充実>

昨今、全国及び本市においても一度は減少した不登校児童生徒の人数が増加している現状を踏まえ、策定会議や市民アンケートにおいても重要度が高いとの意見が多くありました。

<1-1-(5)-④ 命を大切にする心の育成>

市民アンケートにおける「教育において市が力を入れるべきこと」の設問では、「命の大切さや他人を思いやる豊かな心を育む授業・活動の充実」が最も割合が高くなっています。策定会議においても重要度が高いとの意見が多くありました。

<2-1-(2)-③ 青少年を支える環境整備>

青少年が健全に育つ環境を整備することの重要性に関する意見が策定会議において多く出され、市民の関心度が高いものとなっています。

<2-1-(4)-① 歴史文化資産の調査・保存・活用の推進>

市が保有する歴史文化資産の活用の重要性に関する意見が策定会議において多く出され、市民の関心度が高いものとなっています。

<2-2-(1)-② スポーツを通じた世代間交流と地域活性化>

地域との繋がりや連携といった意味でもスポーツを通じた子どもと大人の交流を重要視する意見が策定会議において多く出され、市民の関心度が高いものとなっています。

<2-2-(3)-① スポーツ施設の整備・充実>

スポーツ施設の整備・充実を求める意見が策定会議において多く出され、市民の関心度が高いものとなっています。

<2-3-(2)-① 文化活動の充実>

「甲斐・本の寺子屋」などの読書及び図書館利用推進に関する意見が策定会議において多く出され、市民の関心度が高いものとなっています。

<2-3-(3)-① 家庭・地域における読書活動の支援>

<2-3-(3)-② 幼稚園・保育園等における読書活動の支援>

幼少期における読書活動の重要性については、策定会議においても多くの意見が出されたところであり、市民の関心度が高いものとなっています。

<3-2-(1)-① 教職員の資質向上>

<3-2-(2)-① 学校における業務の効率化の推進>

<3-2-(2)-② 外部人材の活用促進>

これまで以上に、個に応じたきめ細かな教育が求められるなか、教職員の資質向上及び働き方改革は喫緊の課題となっています。策定会議や市民アンケートにおいても重要度が高いとの意見が多くありました。

<3-2-(4)-① ICT 環境の整備>

学びや交流の機会拡大、教育の質の向上のため、ICT 等を活用した質の高い教育環境の整備が求められており、策定会議や市民アンケートにおいても重要度が高いとの意見が多くありました。

<3-3-(1)-① 地域活動への子どもの参加促進の支援>

<3-3-(1)-④ 地域住民による学校支援体制の整備>

家庭・地域・学校が連携・協働した、地域全体で子どもを育む学校づくりが求められており、策定会議においても重要度が高いとの意見が多くありました。

<3-4-(2)-① デジタルデバインド（情報格差）の解消>

教育の質の向上、市民の利便性の向上など、あらゆる場面で DX の推進が求められており、策定会議においても重要度が高いとの意見が多くありました。